

⑱ Parallel and Distributed Implementation of Concurrent Logic
Programming Language KL1

K.Hirata*, R.Yamamoto, A.Imai, H.Kawai, K.Hirano, T.Takagi, K.Taki(ICOT,日本)
A.Nakase(東芝,日本)
K.Rokusawa(沖電気,日本)

質疑応答

質問：KL1-Bの低レベルの実装はPIMの5つのモデルで異なっている。5つのモデルの性能はどう違うのか。

回答：現在は処理系をちょうど作り終わった段階。これから性能の測定、改良のフェーズに入る。

質問：今週前半の話では、1 reduction=100命令と聞いたのだが正しいか。

回答：100命令は通常のマイクロプロセッサに換算したステップ数であり、PIMのステップ数ではない。

質問：KL1の機能は、通常のOS機能に対応している部分がある。そのためKL1処理系は大変複雑になっている。処理系の機能の中でKL1で記述したり、PIMOSに含ませるべき機能は何だと思うか。

回答：確かにそういう機能はあると思うが、含ませるかどうかは実装、性能と機能とのトレードオフの問題だと思う。まだ良く考えていない。